

1 課「はじめまして」

<行動目標>

簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる。

<3つのスモールトピック>

ST1「私の名前・国・仕事」

自分の名前、国、仕事を言ったり相手に聞いたりすることができる。

ST2「私の誕生日」

年齢を言うことができる。誕生日を言ったり聞いたりすることができる。

ST3「私の趣味」

趣味を言ったり聞いたりすることができる。

話してみよう

【話してみよう】は、イラストや写真を見ながら、これから始まる課のテーマに学習者を導いていく役割を持っています。ここには1枚の写真と3枚のイラストがあります。全部、使用する必要はありません。教室では、学習者に合わせて、教師が適切な写真またはイラストを選んで、学習者とやり取りをしてください。

p. 15 のイラストと写真を拡大して提示し、いろいろな場面でのあいさつがあることや、国によってあいさつのし方が異なることが学習者たちに伝わるといいと思います。実際の名刺を利用するのもいいですね。





教科書 14 ページに登場人物紹介がありますが、ここでは出身国なども記しておきます。『できる日本語』の登場人物を設定するときには、年齢・出身国・地域、趣味、キャリアなどを細かく考えて作り込んでいきました。それが教科書全体のストーリーづくりにつながっています。教科書をく眺める>だけではなく、ぜひ<読み込んで>みてください。おもしろい発見がたくさんあると思います。



聞いてみよう

【話してみよう】が終わったら、【聞いてみよう】に移ります。【話してみよう】でテーマについて、学習者の興味が引き寄せられていたら、音声を聞くときには、学習者は聞くことに集中できると思います。日本語学習を始めてスタートする学習者にとっては、これだけの量の会話を聞くのは大変かもしれません。聞く前に、全部分からなくてもいいことなどを言ってから、聞くといいと思います。

ST1 私の名前・国・仕事

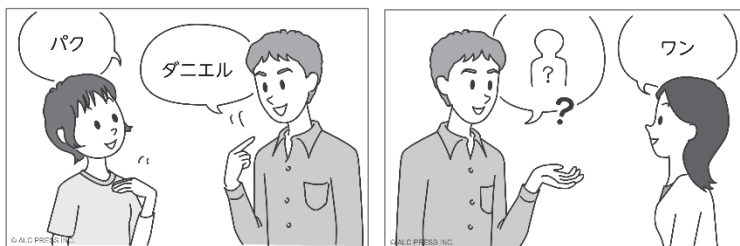
できること：自分の名前、国、仕事を言ったり相手に聞いたりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：学校で初めて会ったクラスメイトに自己紹介をしています。



1



コマイラスト：教室で初めて会ったパクさん、ダニエルさんが自己紹介をしています。お互いに名前を言ったあとに、パクさんの隣にいるワンさんにダニエルさんが名前を聞いています。

状況イラストで初めて会った人たちが自己紹介をしているということがわかったら、まず何を言うか、ということが学習者にも分かると思います。また、名前だけではなく、「よろしくお願いします」の挨拶言葉、人に何かを尋ねるときに「あのう、すみません」などのフレーズも一緒に使えるようになるといいですね。

学習項目 ～はNです お名前は？

言ってみよう 別冊1

自分の名前を言うことで、「私は～です」の練習になります。これから一緒に学ぶクラスメイトの名前をぜひ覚えるようにしてください。それぞれの名前を1回聞いただけでは覚えられませんよね。そういうときには、「お名前は？」と相手の名前を聞いて、お互いの名前を覚えられるようにすると、お互いが仲良くなれる第一歩になります。

言ってみよう 本冊1

ここでは、😊 があります。これは、会話例全体を使って、学習者自身のことで会話を再現するマークです。ここでは、お互いに名前を言う場合と、相手が名前を言わなかった場合のやり取りがあります。ペアで練習をしたあとで、教室全体でお互いの自己紹介ができると思います。

チャレンジ！

2



コマイラスト：ワンさんがダニエルさんの国を聞いています。

質問をするだけでなく、相手の答えを聞いて「そうですか」の発話があると、会話が続く感じになります。

初版の2の学習項目は「～人です」でしたが、第2版では学習項目として扱わず、4のキューの中に新出語彙として扱っています。

学習項目 お国はどちらですか

言ってみよう 別冊2

別冊には、登場人物の国で練習するようにキューを出しましたが、教室にいる学習者の国に合わせて練習してください。

言ってみよう 本冊2

相手の名前を呼ぶときに「～さん」を用いることも注意を向けてください。

こんなふうに

教室にいる人が、みんな同じ国という場合…「お国はどちらですか」の練習をしたあとで、「出身」という言葉を紹介して、お互いの出身地を聞いてみました。

チャレンジ！

状況イラスト：寮で最近知り合った人と話しています。
山口さん、カルロスさん、メアリーさん、パクさんが
寮の談話室で話しています。



3



コマイラスト：カルロスさんが山口さんの仕事を聞いています。

1で「お名前は？」を練習したので、それから類推できるように教師が問いかけをする
とよいと思います。

学習項目 お仕事は？

言ってみよう 別冊3

1の「～はNです」のNの部分の仕事を表す名詞になっています。ここでは、「学生」
「会社員」「教師」の3つが仕事の語彙として出ていますが、学習者に合わせて「わたし
のことば」を獲得できるように、日本語で何というのか知らせてあげてください。

(例「エンジニア」「イラストレーター」「美容師」「医者」など)

言ってみよう 本冊3

例に「Bさん」とありますが、練習の際には、ここはペアの相手の名前を言うように学習
者に言ってください。

チャレンジ！

4



コマイラスト：カルロスさんがメアリーさんに会社員かどうか聞いています。そして、メアリーさんは隣に座っているパクさんにパクさんが会社員かどうか聞いています。

学習項目 Nですか はい、(～は) Nです いいえ、(～は) Nじゃありません

言ってみよう 別冊4

ここでは、「～はNじゃありません」の単文練習になっています。キューは別冊のとおりでなくても大丈夫です。また、教室の学習者が全員、既習者で「～じゃありません」をよく知っていたら、すぐに本冊へ進んでください。

言ってみよう 本冊4

ここにはキューはありませんが、😊があるので、自分のことで会話例を再現します。

チャレンジ！

5



コマイラスト：パクさんが自分がどこの学校の学生か話しています。

学習項目 NのN


言ってみよう 別冊5


所属の「の」の口頭練習です。学習者が既習で知っていたら、本冊へ進んでください。ただ「会社員」が所属のときには「～の社員」になるところは確認してください。

言ってみよう 本冊5

やってみよう

ST1の「できること」は、「自分の名前、国、仕事を言ったり相手に聞いたりすることができる」です。

 音声を聞く前に、表中の名前を確認したり、また、右の点線の四角の中にあるキューと一緒に見たりすると思います。答えを確認するだけでなく、初めて会った二人がどんな挨拶をしていたかを確認したり、【言ってみよう】の会話例の中で出てこなかった表現（「韓国から来ました」）も紹介したりしてください。

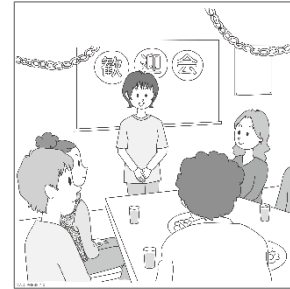
 これまで習ったことをすべて使って、クラスメイトに国や仕事を聞きましょう。クラスメイトの名前を全員覚えられたらいいですね。

ST2 私の誕生日

できること：年齢を言うことができる。誕生日を言ったり聞いたりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：寮の歓迎パーティーでパクさんが自己紹介をしています。



1



コマイラスト：寮の歓迎パーティーでパクさんが自己紹介をしています。

ST1で学習したことがこのコマイラストでほとんど言えると思います。自己紹介のとき、どんなことを話すかというのを学習者に聞きながら、「26」が何を表しているのかに注目してもらいます。

学習項目 ～歳です

言ってみよう 別冊1

本冊の p.286 に年齢の表があります。こちらを見ながら、読む練習ができます。まずは自分の年齢が言えるようになること、また相手が言った年齢が聞き取れたらいいと思います。

言ってみよう 本冊1

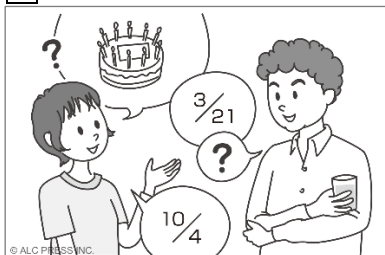
ST1で練習した自己紹介にさらに年齢が加わり、6つの文からなる自己紹介文です。日本語学習を始めたばかりの学習者にとってはちょっとチャレンジングかもしれません。焦らずきちんとできるようにしてください。学習者によっては年齢を言いたくない人がいるかもしれないので、配慮も必要だと思います。

チャレンジ!

状況イラスト：寮の歓迎パーティーで寮の人と話しています。
パクさんはカルロスさんに話しかけています。



2



コマイラスト：寮の歓迎パーティーでパクさんがカルロスさんに誕生日を聞いています。

パクさんの吹き出しにあるケーキのイラストと「？」を指すと、誕生日を聞いているということがわかるかと思います。このとき、「誕生日」ということばも紹介をしてください。日付の言い方がわからなくても、1で数字の言い方を学習したので、「3」「21」などはぜひ学習者に言ってもらいましょう。

学習項目 いつ ～はいつですか ～月～日

言ってみよう 別冊2

本冊の p.286 にカレンダーがあります。まずはこちらを見ながら、月の言い方、また日付の言い方の練習をします。日付の言い方は一度ではなかなか覚えられないので、ここで完璧に言えることは求めず、まずは自分の誕生日の日付が言えるようになったらいいと思います。

言ってみよう 本冊2

1課の本冊のやり取りには、ほとんど 😊 マークがあります。ここではお互いの誕生日を聞く会話になっています。キューの練習が終わったら、ペアの相手の誕生日も聞いてみましょう。学習者に合わせて、キューの日付を使わずに、クラスメイトに誕生日を聞き合う練習もいいと思います。クラスが始まってまだあまり知らないクラスメイトが自分と同じ誕生日だったことが分かると、それがきっかけにお互いの距離が近くなることがあります！

やってみよう

ST2の「できること」は、「年齢を言うことができる。誕生日を言ったり聞いたりすることができる」です。

🔊 音声を聞く前に、「カルロスさん、ワンさん、木村さんの何を聞きますか」などと声をかけて、注目してもらって、音声を聞くといいです。自己紹介をするとき、何から順番に話しているか確認してください。また、3番目の木村さんの自己紹介では、年齢を言っていません。自己紹介で年齢はいつも言わなくてもいいことが確認できるといいですね。

▶ 【言ってみよう】①でも自己紹介をしていますが、1人ずつ言う、またはグループなどで自己紹介をするといいです。【言ってみよう】のときより少しスラスラ言えるようになってきていると思います。自己紹介が終わったら、拍手をして、日本語で話せたことをお互いにエンカレッジできるといいですね。

🔊 日付を聞き取るだけでなく、相手の答えが聞き取れなかったときのストラテジーなども紹介してください。例えば、1では、マリヤムさんが「6月13日」と言ったのに対して、ワンさんが「6月…」と言って、相手からのもう一度言ってもらうようにしています。また、3番ではパクさんが自分が聞いた日にち（「4日ですか」）を言うことで、相手からの答えを引き出しています。

▶ 教室でお互いの誕生日を聞き合いましょう。このとき、教師も一緒に学習者の誕生日を聞きましょう。学習者に合わせて、教科書のp.23にある星座も一緒に聞くのも楽しいです。同じ星座の人がいたら、それだけでお互いに親近感が持てます。



教室を「コミュニティ」にし、何でも言い合える仲間／楽しく学ぶことの大切さを知ってもらいたいと考えています。そうした雰囲気の中でこそ、コミュニケーション力も言語的知識も身につくのではないかと思います。

こんなふうに

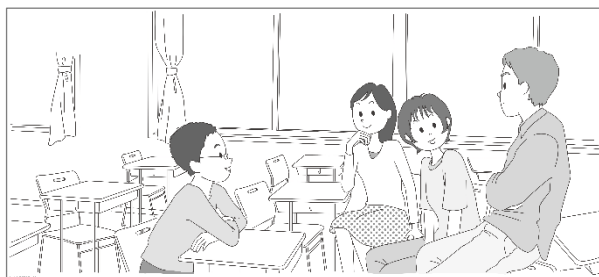
すでに国で日本語を勉強してきている人たちのクラスで1課から始めたとき、「干支」を紹介してみました。国の干支とは違う動物もいたようで、学習者たちは興味深そうでした。

ST3 私の趣味

できること：趣味を言ったり聞いたりすることができる。

チャレンジ！

状況イラスト：教室でクラスメイトと話しています。



1



コマイラスト：パクさんがダニエルさんに趣味を聞いています。

学習項目 何 ～は何ですか

言ってみよう

別冊1

自分の趣味を表す日本語がキューの中にはない場合もあるかもしれません。その場合は、自分で調べたり教師やクラスメイトがアシストしたりして、自分の伝えたい趣味が言えるようになったらいいと思います。また、調べた言葉は、p.29の【ことば】のページに記入するように言ってください。また、副教材の『わたしのことばノート』に「マイ・ポキャブラリー」を記入して、自分だけの「ノート」にしていてもらいたいと思っています

チャレンジ！

2



コマイラスト：ダニエルさんがパクさんに趣味を聞いています。パクさんの趣味は2つあります。

学習項目 NとN

言ってみよう 別冊2

キューが文字で示されていますが、1で用いたイラストを使いながら、練習することもできます。

言ってみよう 本冊1 2

趣味のことばを言うことに必死になっていると、ついつい、「そうですか」を忘れてしまうことがあります。やり取りの自然さや相手への配慮として最後に「そうですか」を言うことを忘れないように伝えてください。

チャレンジ！

3



コマイラスト：ナタポンさんがワンさんに趣味を聞いています。2人の趣味は同じでした。

学習項目 Nも

言ってみよう 別冊3

キューは全部、趣味と関連した内容になっていますが、「私の誕生日も5月です」などのように既習の文を使って、「Nも」の他の例文を紹介してもいいと思います。

言ってみよう 本冊3

やり取りの3ターン目のAに「あ、」が使われています。これは相手と自分の趣味が同じだと知って、少し驚いていることを表すフィラーです。練習のとき、棒読みではなく、驚きが表せるように言えるといいですね。

【チャレンジ】③の会話の最後にワンさんが「わあ、同じですね」と言っています。言ってみよう③にはありませんが、クラスのレベルによっては「わあ、同じですね」も入れて練習するのもいいと思います。

やってみよう

ST3の「できること」は、「趣味を言ったり聞いたりすることができる」です。

🔊 趣味について話している会話を聞きます。聞く前に、点線の中に描かれている①～④のイラストを見て、日本語で何というか、一緒に確認をするといいと思います。また、会話を聞いたあと、答え合わせをするだけでなく、どんな質問があったか、また、フィラー（「へえ」「そうですか」）にも注目するようにしてください。

▶ クラスメイトの趣味を聞きます。このとき、教師も一緒に教室の中で趣味を聞きましょう。同じ趣味の学習者がいるかもしれません！



1課の状況イラストの場面をまとめてみると、学校・寮という場面で、関係性が少しずつ深まっているのがみられます。

ST1 「学校で初めて会った人に自己紹介しています」

「寮で最近知り合った人と話しています」

ST2 「寮の歓迎パーティーで自己紹介しています」

「寮の歓迎パーティーで寮の人と話しています」

ST3 「教室でクラスメイトと話しています」

相手のことを少しずつ知っていく「わくわく感」が最後の【できる！】につながることで意識できると、教科書をさらに立体的に使うことができるのではないかと思います。

できる！

この課の行動目標は、「簡単に自分のこと（名前、国、趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる」です。まずはこれから一緒に勉強するクラスメイトの名前や国、趣味を知って、関係性を作っていくスタートになったらいいと思います。教室でクラスメイトと日本語でやり取りをする中で「話せるようになった！」と実感が持てたらいいですね。

自分のことを話すのは、【言ってみよう】を通して何度も繰り返しているのに、スムーズにできる学習者でも、相手に質問するとなると、難しく感じる学習者も多いです。【できる！】の前に、質問の仕方を全体で確認しておくといいです。

【できる！】実践例

- ・クラスメイトにインタビューをして名前、国、趣味などをお互いを知る。
(学習者に合わせて、インタビューの項目を少し増やしてもおもしろいです)
- ・グループ内でインタビューをしたあとで、2つのグループが一緒になって、他己紹介する。

こんなふうに

このようなワークシートを使って、お互いにインタビューをしました。

第1課 クラスメイトに聞きましょう！			
名前	ト	さん	さん
国・町			
仕事			
趣味			
将来の夢			

話読聞書

【できる！】で、ST1～ST3 のすべてを使って、やり取りします。1 課の【話読聞書】では、【できる！】から繋げて、まとめて話したり書いたりする練習をしています。

【話読聞書】実践例

- ・自己紹介文を書いて、読み合ってお互いを知る
- ・【話読聞書】のあとに、他のクラスの学生と合同で自己紹介をする
- ・次の日の授業担当教師に、自己紹介する。

こんなふうに

【できる！】【話読聞書】では、1 課で習ったことをすべて使って、長く話せるようになりました。このときの自己紹介を録画して、初中級1 課になったとき、見てもらいました。学習者たちは恥ずかしがりながらも、「わあ、上手になった！」と、自分で日本語力の伸びを感じることができたようです。それが、達成感につながり、その後のモチベーションにつながっていきました。

こんなふうに

このようなシートを用意して、自己紹介を書いてもらいました。書いたあとで、お互いに交換して読み合います。下には、読んだ人のコメントが書けるようになっています。

似顔絵などを描いてもらっています。

自己紹介を書きましょう

読んだ人のコメント